



かけはし

相武台中学校だより NO.2 令和8年6月4日



学校教育目標  
みずから  
ともに  
ゆたかに

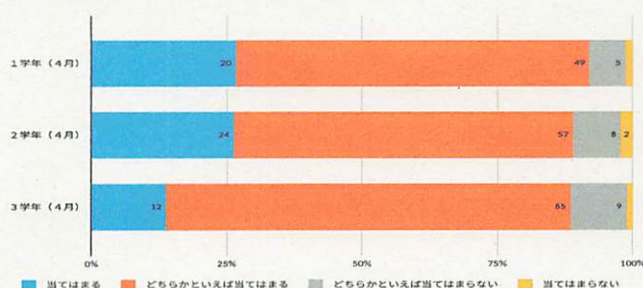
## R8年度 1学期(4月)授業アンケートより

校内研究部長 田川 季寛

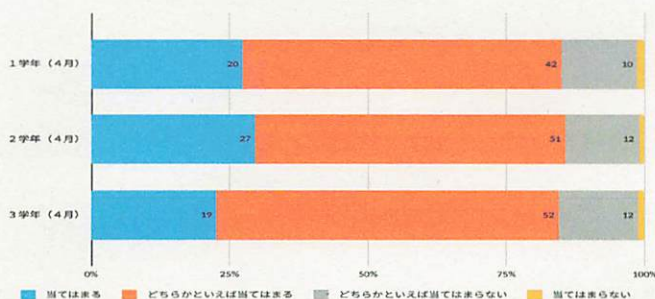
今の学習指導要領において、子供たちに求められる力は変化の激しい社会に必要な生きる力を育むためのものであり、学校で学んだことが、明日、そして将来につながるようにすることや、学んだことをどのように活用するかがとても大切とされています。

本校では、1学期（4月）と2学期（12月）に「授業アンケート」を全学年で実施し、その結果を共有して研鑽を積んでいます。

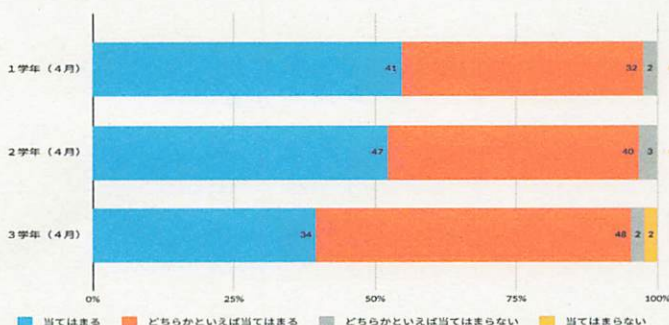
(1)【見通す力】目標（めあて・ねらい）を意識することができていると思う。



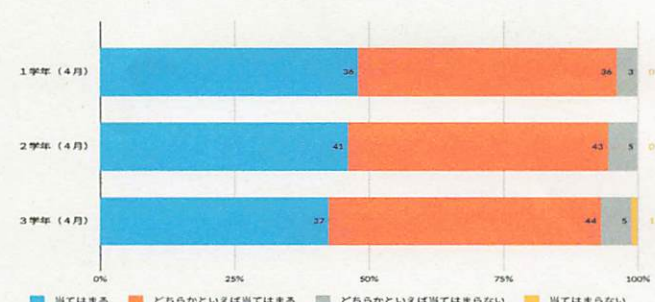
(2)【見通す力】学習内容を振り返ることができている。



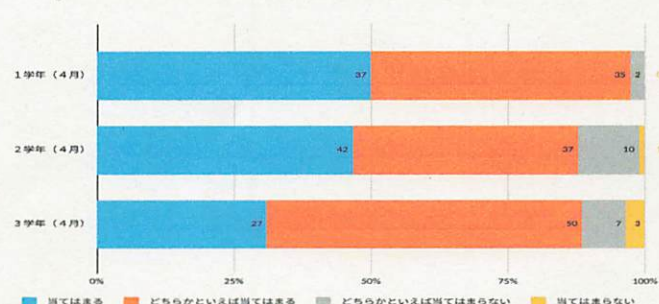
(3)【乗り越える力】課題がわからないときは、他人に聞いたりして、あきらめずに取り組もうとしている。



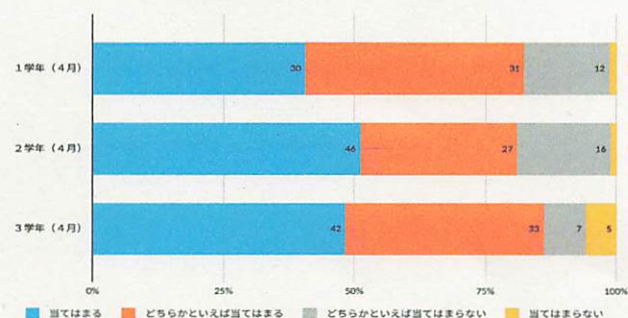
(4)【乗り越える力】【つながる力】生徒の間で話し合う活動で、「できた」「わかった」「なるほど」と感じる機会が多い。



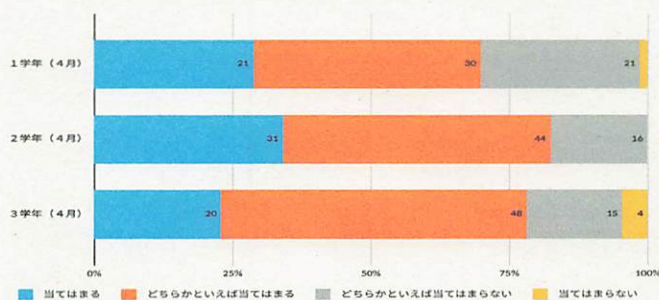
(7)【見通す力】学習内容だけでなく、考え方や学び方が将来社会に出たときに、役に立つと思う。



(6)【見通す力】【自律する力】授業以外でも学習をしている。



(5) 【つながる力】 自分の考えを相手に説明することができる。



このように、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は質問 (1) (2) (3) (4) (6) (7) で8割以上、(5) でも8割に迫る数値となっています。以上の結果を踏まえて、校内研究を活用し、学年ごとに協議を行ってまいります。

## 《相武台中の現状と課題について》

- 非常に高い「学び合う姿勢」  
全項目の中で最も数値が高かったのは、「あきらめずに取り組む姿勢 (問3)」と「話し合いでの納得感 (問4)」です。  
約96%の生徒が、わからないときに友達に聞いたり、話し合いを通じて「わかった」と感じたりできています。  
自由記述からも、「友達と協力して解けるようになった」「人の意見を聞いて考えが広がった」という声が全学年で共通して多く見られます。
- 学習目標と将来への前向きな意識  
「目標の意識 (問1)」や「学びが将来役に立つという実感 (問7)」についても、約9割の生徒が肯定的に捉えています。自分たちが「何のために学んでいるのか」という目的意識を持って授業に臨んでいるのが今の強みです。
- 今後の大きな課題：「説明する力」  
一方で、「自分の考えを相手に説明すること (問5)」は、肯定的な回答が約77%と全項目で最も低くなっています。  
「わかった」という納得感はあるものの、それを自分の言葉で論理的にアウトプットすることに難しさを感じている生徒が、他の項目に比べて多い (特に1年生にその傾向が強い) ことがわかります。

### 1年生：

- **傾向:** 友達と助け合う姿勢 (問3・4) は**8割以上**と非常に高いです。
- **課題:** 一方で、約15%の生徒は「自分の考えを説明すること (問5)」に苦手意識を持っています。
- **対策:** 協力的な雰囲気を活かし、まずは「友達の意見を参考にして考えていく」などの小さな成功体験から、説明する自信を得られるようにしていく必要があります。

## 2年生：

- **傾向:** 「自分の考えを相手に説明できる (問5)」という実感が向上しています。
- **課題:** 約10%の生徒が「学習目標の意識 (問1)」や「家庭学習 (問6)」を苦手としています。
- **対策:** 2年生は後期に向けて、委員会活動や部活動等で忙しくなる時期です。授業の「めあて」の確認を徹底し、家庭学習では短時間で終わる課題など、取り組みやすいものから学習の習慣をつけていくなどの工夫を考えていきたいと思います。

## 3年生：

- **傾向:** 家庭学習 (問6) に取り組む割合は全学年で最も高く、受験生としての自覚が表れています。
- **課題:** 一方で、**数名の生徒**が「学びが将来役に立つ (問7)」ことに疑問を感じたり、特定教科に不安を感じたりしています。
- **対策:** 「何のために学ぶか」という目的意識が揺らぎやすい時期です。キャリア教育との連動や、具体的な学習法 (ノートの書き方等) の工夫を通じて、不安を解消していければと思います。

今年度は「学習の調整」という部分に焦点を当て校内でも授業研究を行ってまいります。学習課題と向き合う中で、どのように学びを調整していくか、つまり「なぜ、うまくいかないのか」を伸びるチャンスととらえ、それぞれが自己の課題解決のためにどのようにアプローチをするかを大切にまいります。結果のみに焦点をあてるのではなく、深い学びを得るための、過程の部分も大切にしていきたいと考えております。

## 6月の主な予定

6月 1日～6月30日	学年諸経費の納入
6月 2日～	教育相談期間
6月 10日	生徒総会 (5.6校時)
6月 11日～	定期試験前諸活動停止期間
6月16日	定期試験1日目
6月17日	定期試験2日目
6月18日	集金 (生徒活動費・PTA費)
6月21日	修学旅行1日目
6月22日	修学旅行2日目
6月23日	修学旅行3日目
6月26日	3年生学力テスト
6月27日～	中学校夏の総合体育大会開催 (競技ごとの開催日)

